

[基本教育科目/人間の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代の倫理	NLA11_011	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
井上ウィマラ	講師控室	vinoue	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	目的： 現代医療における倫理的な問題の本質を理解して、何が正解か決め難い状況の中で深く考えながら患者や家族にしっかりと寄り添うための器を培う。生と死に関する具体的な問題について法律だけでは解決しない側面にまで心を向けることができるような知性と人間性を養う。 概要： 同時双方向型遠隔授業によって講義を行う。授業中に質問やコメントを受けて検討を深め、リアクションペーパーへのコメントを組み込みながら授業を組み立ててゆく。				
学習上の助言	自らの生育歴を振り返り、そこで育まれた価値観を自覚化するように努力する。他の学生の意見や価値観から学ぶ姿勢を身に着ける。				
教科書	マンガで学ぶ生命倫理 児玉聡・なつたか 化学同人				
参考書	はじめて学ぶ生命倫理 小林亜津子 ちくまプリマー新書 生命倫理とは何か A.V.キャンベル 勁草書房 看護と生老病死 井上ウィマラ 三輪書店 マインドフルネスストレス低減法 J.カバット・ジン 北大路書房				
① 生命倫理に関する基本的な概念を理解する。			NS(2)		
② 倫理観のベースになっている内在化された価値観を自覚する。			NS(1)		
③ 病気や死を包摂できる健康観を育む。			NS(3)		
④ 個々の事例について、法の陰に隠れた苦悩に配慮できる。			NS(4)		
⑤ 正解のない問題に取り組み、試行錯誤しながら寄り添える人間性を養う。			NS(5)		
⑥ 燃え尽きないためのセルフケアの重要性を理解して、その基本を身に着ける。			NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	生命倫理の歴史的背景	同時双方向型 遠隔授業	予習：生命倫理について調べる。 復習：生命倫理の必要性と背景についてまとめる。		4
2	「私」のはじまりと終わりについて	同時双方向型 遠隔授業	予習：コンピテンスについて調べる。 復習：「私」とは何か、その社会的機能についてコンピテンスの視点からまとめる。		4
3	健康について	同時双方向型 遠隔授業	予習：WHOの健康の定義について調べる。 復習：自分なりの健康観をまとめる。		4
4	マインドフルネスについて	同時双方向型 遠隔授業	予習：マインドフルネスについて調べる。 復習：倫理の問題に向かい合う器を作るためのトレーニング計画をつくる。		3
5	告知とインフォームド・コンセント	同時双方向型 遠隔授業	予習：インフォームド・コンセントについて調べる。 復習：告知についての自分なりの考えをまとめる。		3
6	ホスピス運動と緩和ケア	同時双方向型 遠隔授業	予習：シシリー・ソングスについて調べる。 復習：最後まで寄り添うためには何が必要かについてまとめる。		3
7	安楽死について	同時双方向型 遠隔授業	予習：安楽死・尊厳死について調べる。 復習：尊厳とは何かについてまとめる。		3
8	自殺について	同時双方向型 遠隔授業	予習：自殺について調べる。 復習：自殺予防についてまとめる。		3
9	中絶について	同時双方向型 遠隔授業	予習：中絶について調べる。 復習：中絶に関するケアについて俯瞰的にまとめる。		3
10	グリーフケアとケアの循環	同時双方向型 遠隔授業	予習：グリーフケアについて調べる。 復習：ケアの循環を創り出すために大切なことをまとめる。		3
11	脳死と臓器移植	同時双方向型 遠隔授業	予習：脳死、臓器移植について調べる。 復習：死とは何かについてまとめる。		3
12	受容について	同時双方向型 遠隔授業	予習：死の受容の5段階について調べる。 復習：受容を強制しない寄り添いについてまとめる。		3
13	クローンとES細胞・iPS細胞	同時双方向型 遠隔授業	予習：クローン、ES細胞、iPS細胞について調べる。 復習：再生医療に対する考えをまとめる。		3

[基本教育科目/人間の理解]

14	作るものと授かるもののはざま	同時双方向型 遠隔授業	予習：出生前診断について調べる。 復習：リプロダクティブ・ヘルスについての考えをまとめる。			3	
15	まとめとレポート作成のための質疑応答	同時双方向型 遠隔授業	予習：レポートのテーマを決める。 復習：授業に基づいてレポートの作成を進める。			15	
試	レポート課題：「授業内容から一つのテーマを選んで論じ、倫理的な問題に寄り添うための器をどのように培ってゆきたいかについて述べよ」						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	① 予習内容が適切にまとめられていること、② 器の培い方について自分の考えがしっかりと述べられていること、の2点から評価する。					Teamsで、コメントを付して返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓					
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
Teamsを使った同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は、通信容量が無制限のWiFi環境を推奨する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の状況に伴う社会情勢によって再度シラバスが変更されることがありうる。							